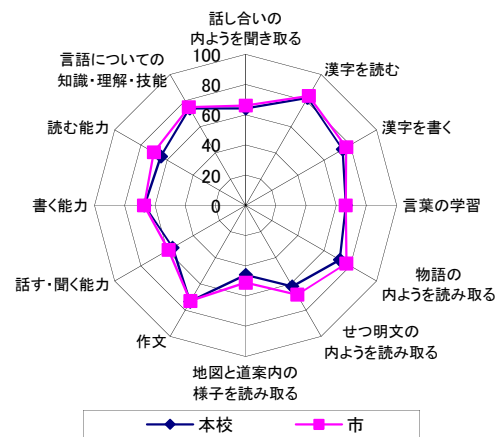


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	64.1	66.1
	漢字を読む	82.1	83.5
	漢字を書く	74.2	76.9
	言葉の学習	66.4	66.2
	物語の内ようを読み取る	71.9	77.0
	せつ明文の内ようを読み取る	61.8	68.3
	地図と道案内の様子を読み取る	46.0	51.2
	作文	73.6	73.1
観点別	話す・聞く能力	55.8	58.9
	書く能力	67.0	67.2
	読む能力	64.7	70.2
	言語についての知識・理解・技能	74.1	75.1



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・平均正答率は市平均をやや下回っている。話の中心に気を付けて聞き取ることは概ねできており、その正答率は市平均をやや上回っている。しかし、話し方の工夫の共通点に気を付けてきくことができる問題については、市平均を下回っている。	・日常の学習指導において、先生や友達の話をよく聞くことを重点に指導してきた。今後は、更に聞き取った内容から自分の考えと比べたり、質問したりできるように支援していく。また、話し方にも着目させ、聞き手に分かりやすく話す方法を考えさせたり、助言したりしていきたい。
漢字	・平均正答率は市平均をやや下回っている。4年生で習った漢字を読む設問では、正答率が市平均とほぼ同等である。3年生で習った漢字を書く設問では、漢字を正しく書けない児童が多く見られ、市平均を下回っている。	・漢字の学習では、書き順や字形を指導したり誤りやすい事例を挙げたりして、漢字の読み書きが正しくできるようにしていく。前学年で習った漢字についても繰り返し練習させるとともに、小テストを実施して定着の度合を確認していく。
言葉の学習	・平均正答率は市の平均とほぼ同等である。連体修飾語や漢字辞典の使い方の問題は、市平均をやや上回っている。しかし、漢字のいろいろな読み方や故事成語の問題は誤答が多く、正答率は市平均を下回っている。	・漢字のいろいろな読み方は、漢字の練習と並行して繰り返し練習をしたり、文章を音読させたりして定着を図っていく。故事成語については、もう一度復習をして、その言葉ができた由来を理解したり、短文作りをしたりして習得させていく。
物語の内ようを読み取る	・平均正答率は市平均を下回っている。場面の様子や登場人物の気持ちや様子を読み取る問題については、市平均をやや下回っている。また、登場人物の気持ちの変化についての問題は、市平均を下回っている。	・物語文では、話の筋がつかめるように音読を繰り返すようにする。また、登場人物の様子や気持ち、場面の様子が正しく捉えられるように、文章を読みながらそれらが書かれている個所にアンダーラインを引いていくようにする。読書活動を多く取り入れたり、読書会の時間を設けたりするなど、本と親しむ機会を増やしていきたい。
せつ明文の内ようを読み取る	・平均正答率は市平均を大きく下回っている。文章の要点に注意して読み取ることは、市平均を上回っている。しかし、段落の要点に注意して読み取る問題や細かい点に注意して文章を読み取る問題の正答率は、市平均を下回っている。	・説明文の形式について理解させるとともに、筆者の意図をきちんと読み取らせるようにする。また、接続語や指示語に着目させて、文章のどの部分を指しているなど、文脈に合った内容を考えさせていく。それから、説明文の載った本を紹介して児童に読ませる活動を取り入れていきたい。
地図と道案内の様子を読み取る	・平均正答率は市平均を大きく下回っている。地図を読み取って適切な言葉でつづいて話すことができるが正答率が低く、3割である。	・地図を使って読み取ったり、適切な言葉づかいで説明したりする問題を設け、学習させていく。
作文	・平均正答率は市の平均をやや上回っている。だが、指定された長さで文章を書くことができる問題では、正答率を下回っている。	・作文を書く時に、この字数で書こうと制限を設けて、書かせていく。文の構成を考える時に、字数の中で文を書き終わるように支援したり助言したりしていく。